



# みどりのきずな

平成 31 年 2 月 発行 第 36 号

編集: 緑区支え合いのまち推進協議会広報部会 発行: 緑区支え合いのまち推進協議会事務局 緑保健福祉センター内

TEL:043(292)8185 FAX:043(293)8284

## 地域包括支援ケアシステムの構築を推進しよう

緑区支え合いのまち推進協議会 委員長 岡本 博幸

「高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けたい」「できる限り住み慣れた家で家族と共に生活がしたい」「終末は生まれた家で」というのが人間としての願いであろう。

近所に旦那さんが認知症になった方がいる。奥さんは「下の世話・放浪癖・食事や睡眠時間の取違えで心休まるときがない」と話しかけてくる。「畑に行って草取りをしているときがほっとする時間だ」と言っている。

だからと言って「施設にお願いして見てもらえば」と思うかもしれないが、人間関係、家族関係、金銭問題等、様々な問題があって解決もままならない。施設に入れれば解決するというのも安易な考えではないかとも思われる。一体どうすれば解決することができるのだろうか。答えは見つからない。

閉じこもり高齢者・認知症患者とて全ての機能が麻痺しているわけではないだろう。何らかの刺激や交流によっては過去を思い出したり、振り返ったり、生きがいを感じることもあるかもしれない。それは一時のことかもしれないが、脳の回線がつながり、笑みが生まれることがあれば大変すばらしいことだと考える。

では、その「交流の場・安らぎの場」を誰がやるのかというと、これも答えは無い。高齢者の総合相談窓口であるあんしんケアセンターに相談したから言っても、そう簡単には事は解決しない。とどのつまり家族まかせとなり出口のない泥沼にはまり込んでしまう。これらの問題は、本来は地域全体で見守り解決していくべき問題だろう。「地域の問題は地域で解決する」。この思いは地域住民の願いである。そのためには「医師・施設・社会福祉協議会・民生委員・健康課・あんしんケアセンター、自治会、問題を抱えている家族」で知恵を出し合う方法しかない。しかし、見通しは立っていない。

地域包括ケアシステムの推進は今岐路に立たされているのではないだろうか。

## ～ 地域の活動紹介 ～ 大木戸台『シニア支援の会』

大木戸台自治会のある大木戸町は、緑区で4番目に高齢化率の高い町です。高齢化率は既に50%を超えており、お年寄りの方からちょっとした困り事の相談が寄せられるようになっておりました。そんな声を察知した6名の方が発起人となり、昨年2月に「シニア支援の会」という助け合いの組織を立ち上げ、8月から庭木のお手入れや重い荷物の移動などのお手伝いを行っております。また、毎月行わ

れている定例会議では新たな活動についての話し合いが行われており、買物支援サービス、ごみ出し支援、見守り活動、髪のカットなども今後行っていく予定です。なお、会議には社会福祉協議会の緑区事務所と土気地区部会も参加しており、シニア支援の会に協力させていただいております。

このような活動が多く地域で立ち上がり、地域包括ケアシステムの構築が少しでも進んでいくよう、我々事務局としても努力していきたいと思っております。

問い合わせ 社会福祉協議会緑区事務所(T)292-8185(F)293-8284



## 椎名地区

### 椎名小学校では、福祉教育に力を入れています！

椎名小学校3年生43名は、10月29日(月)に「耳が聴こえにくい人」とのコミュニケーションをとる方法を学びました(難聴の方2名、スタッフの方3名に教わりました)。

手話を覚えるのはとても難しく、すぐには出来なくても、簡単な単語や筆談、口や顔の表情やジェスチャーを交えた「シニアサイン」でお互いの意思をくみ取ることが出来ることを学びました。



手話とシニアサインを学ぶ



手話とシニアサインを学ぶ

◎視覚に障がいを持つ方とのコミュニケーションの取り方は、12月17日(月)に5年生、6年生が学びました。

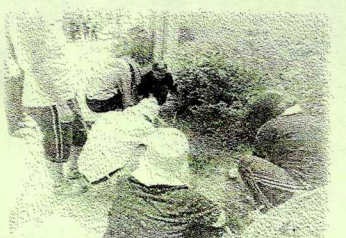
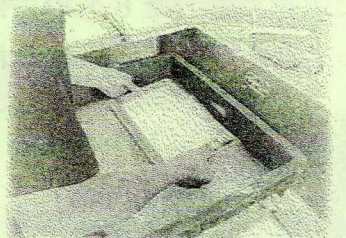
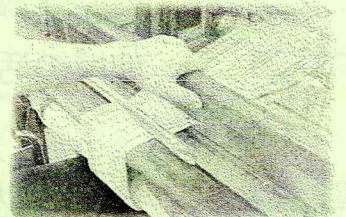
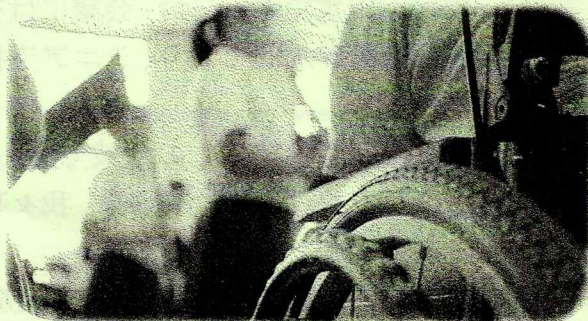
## 誉田地区

### 鎌取地域交流会 (オリーブ鎌取福祉作業所)

異常な暑さが続く8月25日(土)、2年前から千葉市鎌取福祉作業所の運営を行っているオリーブ鎌取福祉作業所(軽度の障がい者が通う施設)において、毎年恒例の「鎌取地域交流会」が開催されました。

オリーブ鎌取福祉作業所の特色として、手芸班(機織り・縫製)、紙漉き班(牛乳パックを再生し、手漉きでハガキや名刺を作成)、外班(野菜作りなど)が広々とした敷地・のびのびとした空間の中、作業を行っています。交流会では、各班で作られた作品の販売や作業の見学会などが行われました。特に野菜は早く売れてしまいます。また、バザー、演奏会、オリーブ製品の販売も行われ、長年続く泉谷中学校ブラスバンド部の演奏会には多くの方が周りを囲んでリズムを取りながら聴いていました。今年初の試みは「すいか割り」で、大変な盛り上がりでした。

施設の名前を聞いても知らない方も多いかもかもしれませんが、次回には見学がてら遊びに来てください。また、施設ではお手伝いをしているだけの方を探しておりますので、ご協力お願いいたします。



# 土 気 地 区

## 第24回 ふれあい福祉フェスティバル 開催

第24回

ふれあい福祉フェスティバル

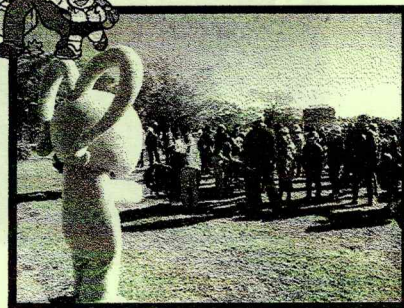
10月20日(土)21日(日)の2日間、土気駅前バーズモールで福祉フェスティバルが開催されました。今年は、昨年と違い、天候にも恵まれました。

地域諸団体の歌や演奏の発表なども予定された通り実施され、楽しいフェスティバルとなりました。地域の方々の合唱、参加団体による演奏などに多くの方が足を止めて見入っていました。実際に活動する様子を見ていただくことが理解につながると思います。また、参加団体の手作り品の販売、施設の紹介もあり、福祉に関心を持っていただけたと思います。フィナーレは土気シビックオーケストラによる吹奏楽で盛り上がるのうちに幕を閉じました。



## 第12回 昭和の森ウォークラリー大会

11月23日(金)秋晴れの中、およそ200人もの多くの参加者、70人余りのボランティアの協力のもと開催されました。各ポイントで、いろいろなゲームに挑戦したり、土気地区に関するクイズに答えたり楽しく活動していました。ゴールの後には、豚汁がふるまわれ、閉会式では成績優秀者を表彰して解散しました。



# お ゆ み 野 地 区

## まちカフェ開催されました ~音楽を通じて絆作りを!~

10月14日(日)、おゆみ野・鎌取コミュニティセンターや緑区役所周辺、古市場のカフェ、また今年にあすみが丘地区も加わり17会場で音楽ライブが開催されました。今年で8回目を迎えるこの活動は、緑区まちカフェライブ実行委員会、アートタウンおゆみ野、そして緑区地域振興課との共催事業です。

当日は大学生の映像撮影グループ、中学生を含む多くのボランティアさんも加わり、各会場とも素敵な音楽と共にたくさんの笑顔が溢れていました。

まちカフェライブの活動が地域の人々の絆作りに役立ち地域の福祉力を高めるきっかけになれば・・・そんな思いを感じた1日でした。



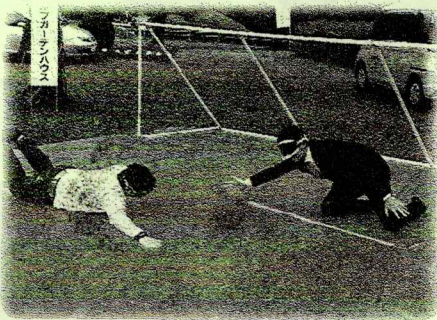
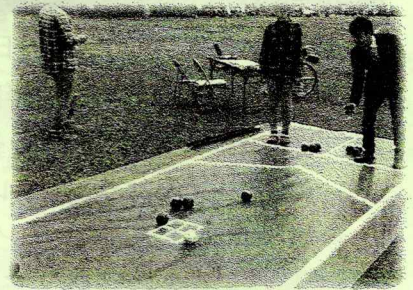
## セルフ・ガーデンハウス（障害者支援施設）の活動紹介

11月4日（日）昭和の森で「第26回緑区ふるさとまつり」が開催されました。社会福祉法人くちなしは、毎年このふるさとまつりにて福祉啓発ブースを設置し、会場に訪れるたくさんの市民の方々に福祉に関心を持ってもらうための活動をしております。昨年度までは車いすや電動車いすの体験、障がい者・高齢者の疑似体験、福祉車両の展示を行ってまいりました。

そして今回は2020年東京パラリンピックの競技種目である“ゴールボール”と“ボッチャ”の体験コーナーを設けました。ちなみにゴールボールは千葉県・幕張メッセで開催される競技ですので、そのPRも行いながら実施しました。

昨年までは「障がい・高齢」をイメージして体験をしてもらう内容で、体験してもらうために声掛けや誘導が必要で、自主的に興味を持って来てくださる方がとても少なく、さらには声掛けされたことを不快に感じる方もおられ…福祉への関心を広める難しさを感じていました。しかし今年はパラリンピック競技の体験ということで、たくさんの方が体験に来てくださいました。

私たち障がい福祉事業者にとっても東京パラリンピックは大きな意味があり、国民全体が障がいを持った方々に関心を寄せバリアフリーの意識が高まる機会です。ぜひこの機会を活かして、障がい福祉に関心を持ってもらうための活動をより進めていきたいと思っています。



## 千葉ゴールボールクラブ（ふるさとまつりでセルフ・ガーデンハウスと連携）の活動紹介

ゴールボールとは、視覚障がい者の競技です。アイシェードという目隠しをして1チーム3名の選手が、鈴入りの専用ボールを互いに投げ合い、守ったりして得点を狙う対戦型競技です。視覚以外のすべての感覚を研ぎ澄ませます。ボールの音や選手の足音、床の振動を頼りに行う競技です。音が頼りになるので、観客はプレー中に声を出して応援することができません。静寂の中で激しい攻防がくりひろげられるスポーツです。ゴールボールは障がいの有無に関わらず、アイシェードを着ければ誰もが公平に行えるスポーツです。是非、ゴールボールを体験・観戦してみてください。

### 【千葉ゴールボールクラブ活動紹介】

千葉ゴールボールクラブは、障がい者スポーツ指導員を中心に設立しました。目的は2020年千葉で開催されるゴールボールを知ってもらう、体験できる場として活動しています。障がいの有無に関わらず皆で楽しむ、パラリンピック競技に親しみを持っていただくきっかけ作り、パラスポーツを通して地域の輪を広げていけたらと考えています。

活動場所：おゆみ野南小学校（第3木曜日 18時～21時）

宮崎小学校（第1日曜日 13時～17時）

千葉盲学校（第2土曜日 9時～13時）

詳しくはFacebook ページの千葉ゴールボールクラブか  
chibagoalballclub@gmail.com までお問い合わせください。



## 編集後記

緑区に来て5年が経ちました。緑区支え合いのまち推進協議会の広報委員にもなり、「みどりのきずな」をじわじわ？・ひしひし？と感じています。この広報紙が緑区住民のきずなを深め広めるために、少しでもお役に立てればいいな！と思います。（E・M）